

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2019/6/21

■ID:A18042

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: メルボルン大学

■留学期間/Program period: 7/16/2018 ~ 6/19/2019

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 法学部未定

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

大学2年の夏に留学を決定した。もともと海外で学習するということを経験してみたかったため大学1年時から検討してはいたが、留学経験のある先輩の話や動画を聞くなどして大変魅力的に感じたため、最終的に踏み切った。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2018年/Academic year / 学部3年/University year / S2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2019年/Academic year / 学部4年/University year / A1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

希望留学先の学事歴や就職活動スケジュールを考えるとほぼ唯一の選択肢だったため。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Aboriginality/2

Global Youth/2

Public Policy Making/2

Accounting Report and Analysis/2

Survey Design and Analysis/3

Digital Media Research/2

Quantitative Methods 2/2

Experimental Design and Data Analysis/4

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

レクチャーに参加型のチュートリアルが付属するスタイルであり、主体的に学ぶ姿勢がついたと思う。社会科学系の授業を取ると各科目毎週 30 ページほどのリーディング課題が課され、内容も硬い文章なのでかなり読解に時間がかかった記憶がある。皆まじめに読んでいるかというとはそうではなく、全く手を付けない現地学生も多いのだが、出されるリーディング課題をすべて読むと当該科目に関する体系的な知識が身につくので必ず読むべき。決して教授自身の著作や好みの文章ばかりを読ませるようなものではなく、各分野における主要なコンセプトが抑えられるように引用件数の多いメジャーな論文を中心に丹念に選択されている。高等教育の質に定評のあるオーストラリアだが、まさにその質の高さを実感したのがこのリーディング課題の内容とそれをベースにしたチュートリアルの構成であった。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :

4~6 科目/Subjects / 1~10 単位/credits

■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :

16~20 時間 時間/hours

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :

スポーツ, Language Exchange Club という国際交流クラブで友人作りに励んだ。

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :

スポーツはテニスを週 2 回ほど行っていた。

■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :

週末は友人と出かけることが多かった。長期休暇はアルバイトを行い生活の足しにしていた。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :

図書館は毎日朝 7 時から翌日朝 1 時まで空いており電源環境・wifi 環境共に完璧だった。勉強するのに最適な環境だと思う。学生食堂のような安価な類のものはなく、各レストランが大学構内に出店する形式であったため、価格は安くはない。ジムは利用しなかったが友人の話によると設備は充実していたとのことだった。

■ サポート体制/Support for students :

非ネイティブ向けに週 1 回 1 時間の語学講座があったが、英語使用経験を単純に増やすという趣旨のものだったため、それなら友達と一時間会話するのと変わらないのではという印象を受けた。書いたレポートは図書館でアドバイスを受けることができる。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :

学生寮

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :

大学が提携している学生寮で大学に極めて近くほぼオンキャンパスの学生寮と言っていいと思う。共用部に各自の個室が用意されたタイプのシェアハウス。大学のウェブサイトの情報を参考にした。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climature, environment around the institution, transportation, food, etc. :

冬は風は強いが気温の面では東京よりやや穏やかであり、夏も40度を超える日もあるが湿度の関係で東京よりは明らかに過ごしやすい。実際部屋に冷房はついていなかったが、寝苦しい日が数日あった程度であとは快適だった。路面電車(トラム)と電車の両方が発達しており快適。外食とスーパーの価格の差が大きく、外食すると日本の2倍するが自炊すると日本よりも安く済むこともある。

■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

基本的に日本のクレジットカードでほとんど全ての決済を行ったが、通信料金の支払いなど一部に関しては現地口座が必要になったので、補助的に大手銀行の口座を開設した。

■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安は極めて良好。病院には一度もかからなかったのでよくわからない。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

履修計画表、英語スコア、パスポート情報、成績表。うち、履修計画表は申請時には過去のシラバスしか参照できずまともな計画表を出せなかったが全く問題ない。交換留学生の場合、現地到着後履修科目は自由に変更できる(全科目変更も可能)。

■ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

Student-subclass-500。最も一般的な学生ビザ。移民局に申請すると、しっかりと所定期間内に返信が来て許可が下りた。

■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

健康診断はなし。数年前まで提出が必須だったが現在はもう派遣先からの提出指示はなくなっている。

■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

東大指定の保険とオーストラリア政府が留学生に指定する保険。BUPA という機関が運営しているものだった。

■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

3S セメスターは繰り上げ試験を申請し、無事申請が受理された。一科目のみ試験の代わりにレポートになったが、その他科目は試験形式だった。

■語学関係の準備/Language preparation :

TOEFL iBT 95、TOEIC940。留学決定後渡航までは自主的に行っていたインターンシップや繰り上げ試験の学習で忙しく、ほとんど勉強しなかった。反省としては、リスニングだけはラジオやポッドキャストを聞く、あるいは映画・ドラマを見るなどして鍛えておいた方がいいと思う。レポート作成などにおいて、リーディングライティングは苦手でも人より時間をかければ完成できるほか、スピーキングもこちらがノンネイティブとわかれば大抵の相手は気長にこちらの頭が整理されるのを待ってくれる一方、リスニングはできないと何の会話も成立せず話にならない。実際かなり苦労した。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	110,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment	0 円/JPY

to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	
教科書代・書籍代/Textbook / Book	10,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	100,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	60,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	110,000 円/JPY
食費/Food	25,000 円/JPY
交通費/Transportation	2,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	10,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した。	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
The Fung scholarships	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
70,000 円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部)からの紹介。	

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
Public Policy Making/2 Accounting Report and Analysis/2 Survey Design and Analysis/3 Digital Media Research/2 Quantitative Methods 2/2 Experimental Design and Data Analysis/4	
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
60 単位/credit(s)	
■留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred	

to UTokyo :
15 単位/credit(s)
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :
5 単位/credit(s)
■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation :
2021 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :
自分の力で調査、分析、結論導出までの全ての過程を一貫して行うことを求められるリサーチレポートをいくつか、英語環境で完成させたことが大きかった。自身で研究し成果を出すということに関して、日本国外で行う可能性を真剣に考えられるようになった。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
目的意識を持ち学習する学生に囲まれ、自身のキャリアに関してもより「自ら形成するものだ」という意識が強まったと共に、活動のフィールドとして海外も視野に入るようになった。
■留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :
1 年間卒業が遅れるが、それを気にする企業はあまりないのではないかと思います。特にデメリットは思い浮かばない。
■留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :
派遣先大学での就職活動イベントに参加した。留学先から日本の新卒採用・インターンシップなどに応募・受験した。
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
公的機関、民間企業、中央省庁、政府系機関または民間企業の中で研究的または公共的側面の強いシンクタンク等。
■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
もし留学先に日本人がいれば、積極的に交流をすることをお勧めします。日本語は一切話さず英語を鍛えたいとか、これまでの文化に触れず新しい文化にもまされたいとのことで、日本人とコネクションをあまり持っていませんでしたが、留学中の自己内省や就活の情報収集の面で、日本人とのコミュニケーションは密にとっておいた方がいいと思います。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
これといったサイトはないが、留学中の学生のブログなど同境遇の人の情報には目を通していった。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2019/6/19

■ID: A18043

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: メルボルン大学

■留学期間/Program period: 7/16/2018 ~ 5/23/2019

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 農学生命科学研究科農学国際専攻

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 修士1年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

もともと留学や海外に興味があり将来は海外で働きたいと思っていたため、大学に入ったら留学をしようと思っていた。学部での留学も考えていたが当時は英語力が十分でなかったのに加えて全く専門性のない状態だったので修士で留学することにした。結果的に英語力を高めてから修士で留学したことで講義の履修だけでなく海外での研究の経験を積めたことは大変よかったし、得るものが大きかったと思う。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2018年/Academic year / 修士1年/University year / S1学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2019年/Academic year / 修士2年/University year / S2学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

修士課程での留学で最速で留学できるのがこの時期だったため。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

- ・Development in 21st century/12.5
- ・Australia in the wine world/12.5
- ・Botany research project/70

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

交換留学に応募したのと同時期にメルボルン大学で私の東大での研究室と非常に近い内容の研究を行っている研究室の教授に連絡をとって研究室に受け入れてもらい、留学中も研究活動を行った。履修の都合上、研究室に honors (master と undergraduate の中間に位置づけられる1年間の postgraduate の学位) の生徒として受け入れてもらった関係で、research proposal、literature review に加えて最後に

honors の学位論文に相当する論文を執筆する必要があった。研究分野が日本で行った学部の卒業研究とほとんど同じだったとはいえ、当然だが研究にまつわる全てを英語で行う必要があったためかなり苦労したが、現地の研究室の方々にも大変良くしてもらい熱心に指導していただき、総合的に非常に有意義な経験になった。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :

4~6 科目/Subjects / 21 以上単位/credits

■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :

21 時間以上 時間/hours

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :

取り組んでいない。

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :

研究が忙しかったため課外活動に割く時間がなかった。

■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :

長期休暇も研究で忙しかったためあまり長い休暇は取れなかったが、機会をみてオーストラリアの他の都市やニュージーランドなどを訪れた。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :

キャンパス内に図書館は複数あり基本的に朝 7 時から午前 1 時まで利用可能だが生徒の数に比較して席数が非常に少なく特にテスト期間は席を確保するのに苦労した。会員制の有料ジムなどもあったが利用しなかった。

■ サポート体制/Support for students :

留学生向けの英語講座やすべての学生を対象とした統計やライティングのワークショップなどサポート体制は大変充実していたと思う。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :

シェアハウス

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :

現地の留学生用の Facebook グループで見つけた。1 学期目は他の交換留学生とのルームシェアをし、2 学期目は同じシェアハウス内の個室に移動した。キッチンやシャワーは共用。ヨーロッパからの留学生がメインのシェアハウスだったためライフスタイルや文化の違いに苦労したが、総合的にはいい選択だったと思う。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :

1 日の中に四季があると言われるほど気候が変わりやすい。メインの Parkville キャンパスはシティの中心部も徒歩圏内で治安はいいが家賃が高い。多民族国家らしく様々な料理が楽しめるが外食はかなり高つくので時間に余裕があるときは自炊をしていた。大抵の日本食の食材はアジア系のスーパーで手に入

るが値段が日本の3倍近いのでかさばらないものは日本から持っていくといいかもしれない。

■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

現地の銀行で口座を開いた。Transferwise というサービスを使って親に生活費を送金してもらっていた。学生は口座の開設に費用はかからない上、友人と外食をするときなどに送金することになるケースも多いので1年間留学をするなら現地の口座を開くことを勧める。

■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安は基本的にいいはずだが滞在中は留学生や現地の女子学生の殺害事件、テロ等も発生したので夜遅くに一人で出歩くことは避けたほうが良い。滞在中には医療機関を利用しなかったため現地の医療事情はよくわからないが、歯の治療は保険適用外でかなり高額になると聞いたので注意。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

メルボルン大学から送られてきたメールの指示通りに履修予定科目の申請、保険の申し込み等を行った。事務手続きにかなり時間がかかるので早めに手続きを行うことを勧める。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

学生ビザの申請を行った。時間に余裕を持って手続きを行うことを勧める。

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

大抵のものは現地で手に入るが常備薬等があれば持っていくと良いかもしれない。

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

東大で紹介される付帯海学に加えてオーストラリアの保険会社が提供する学生保険への加入が必須となっていた。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

留学届けと履修予定科目一覧を提出した。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

IELTS overall 7.5 スピーキングとライティングが苦手ないわゆる純ジャパなので最初の学期は特に苦労した。ABC newsなどで事前にオーストラリア英語にある程度耳を慣らしておくといいたいだろう。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	200,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	10,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	90,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	70,000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

--

■ 留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	75,000 円/JPY
食費/Food	40,000 円/JPY
交通費/Transportation	2,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	30,000 円/JPY
■ その他、補足等/Additional comments :	
通信費 3,500 円	

■ 留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した。	
■ 奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
JASSO、農学生命科学研究科	
■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :	
70,000 円	
■ 受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
農学生命科学研究科より留学開始時に一括で 230,000 円を受給	
■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部)からの紹介。	

今後の予定について/About your future plans

■ 留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
<ul style="list-style-type: none"> ・Development in 21st century/12.5 ・Australia in the wine world/12.5 ・Botany research project/70 	
■ 留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
10 単位/credit(s)	
■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :	
8 単位/credit(s)	
■ これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :	
12 単位/credit(s)	
■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation :	
2020 年 3 月	

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :	
語学力、研究などの面でもある程度の成果をあげることができたが、個人的には今回の留学での一番の成果は様々な考え方、バックグラウンドを持つ人々との出会いを通して留学前に比べてかなり柔軟に物事	

を考えられるようになったことだと考えている。留学中は研究、私生活ともに文化の違いや英語の拙さから人間関係を始め様々な困難があったが、それでもなんとか困難を乗り越えたことで将来海外で仕事することへの自信もついた。また、自分は今回の留学が初めての海外長期滞在だったため良くも悪くも海外生活への幻想がなくなり、海外で働くことについてより現実的に考えられるようになったと思う。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :

留学を経て自分のキャリアに対する考え方や志望が大きく変わることはなく、結果的には留学出発前に考えていたキャリアを選択することになった。ただ、留学中に世界中から集まっている学生のキャリア観やオーストラリアの働き方を知ることができたのは就職活動での自分の優先順位を考える上で役立ったし、今後キャリアを構築していく上でもいきてくと思う。

■留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

・メリット 留学で得られる語学力やバックグラウンドの異なる人ともうまくやっていく力、日本とは異なる社会への理解はどんな進路を選ぶにしても役にたつ能力だと思うし、うまくアピールすることさえできれば就職活動においても評価されると思う。また、個人的には周囲が日本で就職活動をしているときに留学で海外に身を置いていたことで不必要な焦りを感じたり周りに流されたりすることなくきちんと自分と向き合うことができた点もメリットだった。・デメリット 留学中の学生に対して配慮した選考を行っている企業も増えてきてはいるが、学年を落とさずに卒業する場合、就職活動の時期に日本にいないこと、留学先で得られる情報は限られてしまうことで不利益を被る可能性があることは否めない。

■留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

派遣先大学での就職活動イベントに参加した。学外の就職活動イベントに参加した。社会人との接点をもつように心がけた。留学先から日本の新卒採用・インターンシップなどに応募・受験した。

■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

公的機関、官庁

■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

就職活動への影響、費用など色々迷う点はあると思いますが、チャレンジできる環境にあるのなら是非留学に挑戦すると良いと思います。留学で何をえられるかは人それぞれですし、正直なところ実際に留学してみないとわからないことも多くあります。最終的に留学したことがどう転ぶかは留学中の自分の行動次第です。頑張ってください。

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

Atsueigo 留学前のみならず留学中も英語学習に役立つ。Netflix いわゆるシットコムの鑑賞は日常で使う言い回しを学ぶのに役立つし、留学先で他の学生との話題作りにもなる。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2019/7/12

■ID:A18044

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: メルボルン大学

■留学期間/Program period: 7/16/2018 ~ 6/30/2019

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教養学部教養学科総合社会科学分科相関社会科学コース

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部4年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

学部3年時に短期の語学留学に参加し、より長いスパンで海外に滞在し日本に住んでいては得られない視点や経験を体得したいという思いを強め、留学を決意。もともと英語力は高い方ではなかったが、語学面以上に1人で学生時代に一年間海外で生活するという経験の質に期待した。学部4年からの留学のため新卒一括採用の時期に日本に滞在することが難しくなるが、元々は大学院進学を検討していたこともありさほど気にしなかった。また、ボストンキャリアフォーラムや帰国後の夏季採用など留学経験者向けの就活イベントを活用するなど、対応は可能だと思われた。いずれにせよ、せっかく長期留学をしたいという気持ちを持っているのに、就活のタイミングを理由に諦めたり期間を縮めたりしてしまうのはとてももったいないと感じたため、思い切って1年間の留学を決めた。もしこれを読んでいる方で同じような悩みを持っている人がいたら、背中を押ししたい。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2018年/Academic year / 学部4年/University year / S2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2019年/Academic year / 学部5年/University year / A1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

学部3年時に参加した短期の語学プログラムをきっかけに長期留学を決意したため。また、大学院進学を念頭に置いていたこともあり、就活の時期が留学とかぶってしまうことにそこまで抵抗がなかったため。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Aboriginalities/12.5

Academic English/12.5
Contemporary Political Theory/12.5
Freedom and Equality Across Borders/12.5
From Graffiti to Terrorism/12.5, Critical Analytical Skills/12.5
Democracy and its Dilemmas/12.5
■ 留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad :
1 コマにつき毎週 3 本ほどの文献が指定されており、それを事前に読んだうえでチュートリアルと呼ばれる議論中心の授業に出席した。中間試験や最終試験で授業で扱った内容からテストがあったりエッセイの提出が求められたりした。私は Bachelor of Arts の授業を履修したが、東京大学の教養学部の授業が教授の好きなテーマに基づいて進められエッセイも自分の好きなテーマで決められるのに対して、こちらではディシプリンとして明確に定められた範囲をおさえるという印象だった。特に印象に残っているのは、移民をめぐる政治哲学の授業で、3 週間にわたるインテンシブのクラス。セメスター型のチュートリアルよりも少人数だったため、毎回 3~5 人のグループでディスカッションをしたので積極的に意見を交わすことができた。
■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :
1~3 科目/Subjects / 21 以上単位/credits
■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :
16~20 時間 時間/hours
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :
文化活動, ボランティア, 旅行(オーストラリア国内、国外)
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :
Language Exchange Club に所属しスペイン語や中国語を学生から習ったり、Japanese Club に所属して日本の言語や文化に興味のある学生と交流したりした。また、学外で開かれる言語交換のための集まりに参加し、日本語を話したい現地の方と英語で会話して友達を作った。
■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :
週末は友達とご飯に行ったり、メルボルンから少し離れた地域に旅行に行ったりした。また、社会運動に興味をもち、レイシズムに抗議するデモやプライドパレードなどに参加して普段声を聴くことのないムスリムの方や LGBT 当事者の方の声を聴く機会をもった。長期休暇中は友達との旅行や一人旅をして過ごした。オーストラリア国内ではタスマニアやキャンベラ、シドニー、ウルル、ケアンズを訪れた。国外では日本よりもアクセスのよい太平洋諸国、フィジーやツバル、キリバスを訪れた。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :
図書館はキャンパス内に複数あり、夜の 1 時まで使える。ジムやプール、校庭もある。UnionHouse というお店がいくつか集まった食堂がある。キャンパス内ではどこでも Wifi が使える。
■ サポート体制/Support for students :
精神的なサポートは相談窓口の設置など積極的な印象。学習面や生活面については、学期が始まる最初の数週間に留学生向けのガイダンスが開かれる。語学面のサポートは、non-native 向けの英語プログラムがあるが人数制限がある。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :
学生寮
■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :
キャンパスから徒歩 5 分の留学先の学生用アパート(Student Village)で、半年は個室(Studio)、もう半年は 4 人のシェアルームに宿泊した。キッチン、シャワー室、トイレがついていて、交換留学生向けにはキッチン用具は寝具もついていた。アパートにはランドリーやトレーニングルーム、ゲームルームもあり、イベントも頻繁に開催されていた。留学先の大学からの紹介で知った。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :
たいていは暑すぎず寒すぎず過ごしやすいが、雨がよく降ると、突発的に暑い日寒い日が来るのが難点。大学は市内から徒歩 10 分程度で tram も走っているためアクセスがとても良い。移民の街のためイタリアや中華、東南アジアなど食事が充実している。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :
マネパカードを使って海外送金し、引き出した現金を現地の銀行口座に振り込むという形式を取っていた。現地のクレジットカードは Commonwealth Bank のものを使った。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :
基本的に治安は良かったが、市内でテロがあったり郊外で殺人事件があったりした。心身の健康管理については、留学先の大学は相談窓口を設けていたが、特に利用しなかった。定期的に人と会って話すことが重要だと思う。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :
オンラインで申請手続きを進め、Offer Letter を受理した後に入学許可書(CoE)を受け取る。基本的には留学先の HP やメールの指示に従っていれば問題ない。パスポートのコピーや英語の能力を証明する書類などが必要になること、留学先の対応が遅いことに鑑みて、早め早めの準備を勧める。
■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :
Student visa (subclass 500)を取得。申請先はオーストラリア政府の Department of Home Affairs で、申請してからビザが発行されるまで大体 2 週間かかった。こちらも留学先の HP に指示が書いてありそれに従った。パスポートや CoE だけでなく OSHC(留学先が指定している保険)に入っておいたり GTE(就学目的の滞在であることを証明するための書類)を用意したりする必要がある。早め早めの準備を。
■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :
東京大学の健康診断を受診した。またオーストラリアでは歯の治療が保険適用外のため歯医者にも行った。念のため頭痛薬なども持って行った。
■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :
東京大学に指定された付帯海学と OSSMA に加入した。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :
教養学部に留学許可願、入学許可書(CoE)とその和訳を提出した。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

渡航前に東京大学スペシャルイングリッシュレッスンを受講したり、オンライン英会話レアジョブを使ったりしてスピーキングを伸ばした。可能な限りスピーキングとリスニングを伸ばしてから渡航したほうが良いと思う。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	120,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	97,700 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	58,320 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

交換留学のため授業料は派遣先には支払っていません。

■ 留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :

家賃/Rent	120,000 円/JPY
食費/Food	40,000 円/JPY
交通費/Transportation	0 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	10,000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

■ 留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :

受給した。

■ 奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :

JASSO 奨学金

■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :

70,000 円

■ 受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :

■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :

大学(本部)からの紹介

今後の予定について/About your future plans

■ 留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :

なし
■ 留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :
66 単位/credit(s)
■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :
0 単位/credit(s)
■ これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :
10 単位/credit(s)
■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation :
2020 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :
<p>私にとって留学とは、日本でマジョリティ側の人間として生きてきたつもりなのにマイノリティとしての視点を与えてくれるものだったと思う。特に、学術面での気づきが、それ以外の日常空間での個人的な体験と結びついて咀嚼することができた点に関して、非常に満足している。オーストラリアの先住民に関する授業や政治理論、社会学の授業を通して、社会的弱者がいかに抑圧されているか、そして彼らの声がメインストリームに聞き入れられていない現状を知った。そのうえで、植民地主義的なオーストラリア政府に抗議する先住民主体の集会や LGBTQ のプライドパレード、レイシズムに抗議する集会に参加して、差別に苦しんでいる当事者の声を直接聞くことができた。また、より日常的な場面では、友達にアジア系移民も多く、出身国の現状や問題意識、オーストラリアで永住権を獲得できるかといった現実的な不安や懸念、移民規制をめぐって選挙への注目度の高さなどを目の当たりにし、よりリアリティをもって移民という人々の抱える問題を捉えることができるようになった。また、自分個人の精神面についても成長を感じた。今まで東京で実家暮らしをしてきた私が 1 人暮らしをする中で、いかに自分を律して健康を保つか、いかにシェアルームの友達とうまく付き合うかといった課題に初めて直面し、その難しさを痛感した。特に反省しているのは、友達の交友関係が時間が経つにつれて狭くなっていき、いつも同じメンバーと過ごすようになってしまったこと、また 1 人でいる時間を無為に過ごしてしまう場面が少なからずあったことである。とはいえ、こういった自分の弱さに向き合う時間を持つことができたのもある種の収穫だと考えており、今後活かしたい。</p>
■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
<p>留学を通して、働くことの意味を見直すことになり、就職活動に前向きになることができたと思う。大きなきっかけは、留学先で出会った友達の中に、一度働いた後に大学院に進学した人が多くあり、一度仕事を獲得して働くことで問題意識を高めて更なるステップアップとして院進するという選択肢を魅力的に感じるようになったことである。また、留学先の大学では、将来仕事を獲得するためにエンジニアや経営を専攻している留学生が多数存在しており、その雰囲気の影響されてキャリアを考えるようになった。11 月に開催されるポストンキャリアフォーラムには参加しなかったが、3 月ごろから帰国後の夏季採用での就職活動に向けて準備を始めた。</p>
■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

メリットとしては、まず第一に海外で働く機会を得やすくなるということ、第二に就活で留学経験をアピールすることができるということ、第三にキャリア設計において「ふつう」とは違う選択をしやすくなるということがあると思う。特に三つ目は、いわゆる日本の4年制大学を卒業・新卒一括採用という一般的な経路から外れることを通して、自分は本当はどういう人間なのか、何を實現したいのかを考えるきっかけになると思う。デメリットとしては、就活時期に関して調整が必要になるということに尽きる。業界や企業によって採用回数や時期が異なり、それらの情報が直前になるまで公開されないことも多く、非常に就活を進めづらい。あらかじめ同じような就活をした先輩などを見つけて話を聞くのがよいと思う。

■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

派遣先大学での就職活動イベントに参加した。社会人との接点をもつように心がけた。留学先から日本の新卒採用・インターンシップなどに応募・受験した。

■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

研究職、民間企業。研究職については、同大学の総合文化研究科を検討しており、留学中に学科の指導教員とやり取りをした。民間企業については、新聞社・通信社で記者職を検討している。

■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

もし留学に興味を持っていて、留学できる英語力や資金などの条件が整っているのであれば是非ともトライしてほしい。そのうえで、これから留学に行くという人に向けて三つほどアドバイスを。前もって準備することの大切さ、友達づくり、積極的な姿勢の三点。一つ目は、渡航前に留学が充実したものになるようにできる限り準備すること。英語はできるに越したことはないし、渡航時の英語力をベースに仲良くなれる友達の質や量が決まるといっても過言ではないと思うので、なるべく英語の勉強を進めたほうがよい。私はこの認識が甘かった。また、課外活動において何にどれくらい時間を費やすか計画を立てるとよい。私はインターンシップをしようと思っていたが、応募条件に国籍や能力などの縛りが多く参加できなかった。また、クラブ活動についても自分に合った場所を見つけるのに相応の時間と労力がかかる。また、長期休暇をどのように使うかも前もって準備すべし。二つ目は、友達をできる限り多く深く作るということ。特に最初の数カ月が勝負で、ここで仲良くなった人とは長い付き合いになるが、それ以降はなかなかハードルが高くなる。一度知り合った友達とは定期的に連絡を取り合い会って話す習慣をつけると良いと思う。また、日本人の友達についても、日本語を話したくないからといって毛嫌いせず仲良くした方がよい。もちろん日本人で馴れ合うのもよくないが、留学先で情報を共有したり意識を高め合ったりする貴重な仲間だと心得るべし。三つ目は、留学中はイエスマンになるということ。私は元々アウトゴーイングなタイプではなかったが、留学中はなるべくどんなことにも挑戦したほうが良い。自分がさほど興味のないことでも、試してみたら面白いということが多々あった。例を挙げると、タピオカは日本では女の子が飲むものというイメージがあり私は何となく遠ざけていたが、留学先で友達に勧められて飲んでみてハマリ、それをきっかけに友達と会話が弾むということがあった。『イエスマン』という映画があるので、何も挑戦する気が起こらないという方にはオススメする。

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

準備段階では、留学先大学の留学生向けサイトが参考になった。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2019/7/16

■ID: A18063

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: メルボルン大学

■留学期間/Program period: 7/16/2018 ~ 6/30/2019

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 工学系研究科システム創成学専攻

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 修士1年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

留学を決めたのは学部4年の春頃、在学中に留学をしたいという気持ちはずっとあり、特に迷うことはありませんでした。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2018年/Academic year / 修士1年/University year / S2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2019年/Academic year / 修士2年/University year / A1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

次年度の研究や就職活動の上で都合が良かったから。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

- ・Cluster and Cloud Computing/12.5
- ・Algorithms and Complexity/12.5
- ・Knowledge Technologies/12.5
- ・Statistical Machine Learning/12.5
- ・Database Systems & Information Modeling/12.5
- ・Optimisation for Industry/12.5
- ・Presenting Academic Discourse/12.5

Understanding Society/12.5

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

授業は週2時間のlectureと1時間のtutorial(workshop)から構成されています。理系科目は基本的に

予習はいりませんでしたが、文系科目は必須のリーディングがありました。
■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :
4~6 科目/Subjects / 21 以上単位/credits
■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :
6~10 時間 時間/hours
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :
スポーツ, 文化活動, インターンシップ
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :
複数のクラブに所属しイベントに参加しました。また夏休みに留学生向けのインターンシップに参加しました。
■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :
主にオーストラリア周辺の旅行とインターンシップをしていました。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :
図書館、スポーツ施設、カフェテリアはあります。大学の Wifi もキャンパス内どこでも繋がります。PC は図書館にあるものが利用できます。
■ サポート体制/Support for students :
Stop1 という事務室があり、様々な相談や手続きは基本的にそこで受付けています。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :
アパートなどの賃貸
■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :
インターネットで検索し大学に近い学生専用アパートに滞在しました。私は個室でしたがルームシェアが出来る部屋もあります。私のアパートもそうでしたが、アパートによっては学生同士の交流の為のイベントが度々開催されます。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :
メルボルンの気候は 1 日の中でも変わりやすく、four seasons in a day と言われています。大学からは CBD までは徒歩 15 分程と近いです。スーパーは日本も含むアジア系の食材が充実しており、アジア系のレストランも多いので、食事で困ることはありませんでした。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :
メジャーなバンクの一つで口座を開設(Debit+Online がスタンダード)し、その口座に海外送金をしました。現金より Debit カードを使う機会の方が多いです。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :
滞在中にテロによる事件が発生しましたが、基本的には治安はいいです。アレルギーが悪化した為大学

のクリニックを受診しましたが、保険の対象であった為無料ですみました(が、一部(歯科など)は対象外で日本より高いことも多いです)。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

大学指定の保険(BUPA OSHC)に加入、学生ビザの取得、担当者とのメールを通したドキュメントのやりとり等。メルボルン大学の専用 Web サイトに示された手順と担当者の指示に従えば概ね問題はないと思います。ただ私は保険を申請した際に加入期間が誤って記載された為、ビザ申請でかなり手間取りました。重要な書類の項目は注意して確認するといと思います。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

種類: Student (subclass 500) 、申請先: Department of Foreign Affairs and Trade、手続きに要した時間: 10 日間

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

持病もないので健康診断等も含め特に準備はしませんでした。大体の薬は薬局で手に入ります。また大学付属のクリニックが金銭面等で受診しやすいです。

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

留学先大学の指示に従い現地の保険(Bupa)に加入します。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

留学許可願、就学計画書の提出。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

出発前 IELTS, TOEFL iBT の両方を受験しました。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	130,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	10,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	0 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	55,000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

■ 留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :

家賃/Rent	150,000 円/JPY
食費/Food	50,000 円/JPY
交通費/Transportation	500 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	5,000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

■ 留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :
受給した。
■ 奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :
日本学生支援機構(JASSO)
■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :
70,000 円
■ 受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :
■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :
大学(本部)からの紹介

今後の予定について/About your future plans

■ 留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :
・Algorithms and Complexity/12.5 ・Knowledge Technologies/12.5 ・Optimisation for Industry/12.5 ・Presenting Academic Discourse/12.5
■ 留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :
14 単位/credit(s)
■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :
8 単位/credit(s)
■ これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :
0 単位/credit(s)
■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation :
2021 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :
自分でも思った以上に環境の影響は大きく、自身の考え方もいい意味でかなり変わりました。日本の環境や価値観をより相対化することが出来るようになったと思います。
■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
現地で交流した方々はキャリアや将来に対する考え方が柔軟で価値観も多様だったので、将来を考え直すいい機会となりました。
■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future

career/job hunting :
留学生を求める企業も少なくないので、多少就職活動で有利に働く可能性はあります。ただ留学時期等条件によっては就職活動を並行して行わなければならないかもしれません。
■留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :
派遣先大学での就職活動イベントに参加した。現地でインターンシップに参加した。社会人との接点をもつように心がけた。
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
民間企業
■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
少しでも行ってみたいと思う気持ちがあれば、思い切って飛び込んでみると思います。少なくとも留学をして後悔をすることはないですし、私は自分が期待していた以上の経験を得ることが出来ました。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
特にありません。